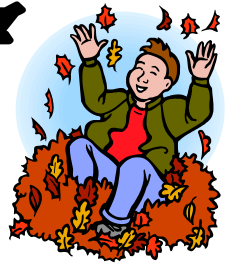


学校だより 12月号



平成19年 12月3日

京都市立稲荷小学校 校長 吉田茂雄

.641-0057 Fax.641-7660 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/inari-s/>

年の瀬、師走12月(DECEMBER)を迎え、あわただしくなってきました。学校では、稲荷山めぐり、自由参観日、学級懇談会などがあります。そして、後3週で楽しい冬休みを迎えます。

5日は「稲荷山めぐり(2)」です...予備日は12日(水)

温暖化のせい、稲荷山もようやく紅葉の盛りを迎えました。

さて、本校の伝統的な行事である第二回目の「稲荷山めぐり」を5日(水)に行きます。今回は、南谷のきつい坂道も登り、山頂付近から薬力さんに下りてくる一番遠いコースです。子ども達は、グループで協力しながら、晩秋の稲荷山の自然を楽しんで来ます。また、保護者のボランティアを募ったところ、24名もご協力していただくことになりました。(予備日もよろしく願います。)

その日の夕食時などに「稲荷山、どうだった?」と聞いていただき、親子で会話を楽しんでください。

当日の朝、検温して「健康観察チェック表」を必ず持たせてください!

6日は「自由参観日」です

本校は、1年中いつでも参観に来ていただいて結構なのですが、12月は6日(木)を「自由参観日」とします。この日は木曜日で5時間授業です。時間を見つけて、少しでも子ども達の学習の様子を見に来てください。

学級懇談会にご出席を~12日(中・ろ)・18日(低)・19日(高)

9月以降、運動会、学芸会と大きな行事があり、子ども達もずいぶん成長してきました。そこで、12月12日から学級懇談会をもち、子ども達の成長と今後の課題を、保護者の皆様と共に語りあいたいと思っています。

なお、4年とろ組は、1月15日・16日に行く「山の家」野外活動の説明会も行います。



年末年始の予定

- 21日(金) 授業終了
- 22日(土) ~ 冬休み開始 1月8日(火)まで
「造形(たこづくり)・囲碁教室」「児童クラブ(バウドテス)」
- 29日(土) ~ 1月3日(木) 学校閉鎖日
- 1月8日(火) 支部京都たいむ(14:00 砂川小~2年船橋さん 出場)
- 1月9日(水) 授業・給食開始~平常授業
- 1月12日(土)「造形(たこづくり)・囲碁教室」「児童クラブ(ワイグディク)」
- 1月13日(日) 深草地生連「もちつき・たこ揚げ大会」(深草中学校)

平成20年(2008年)

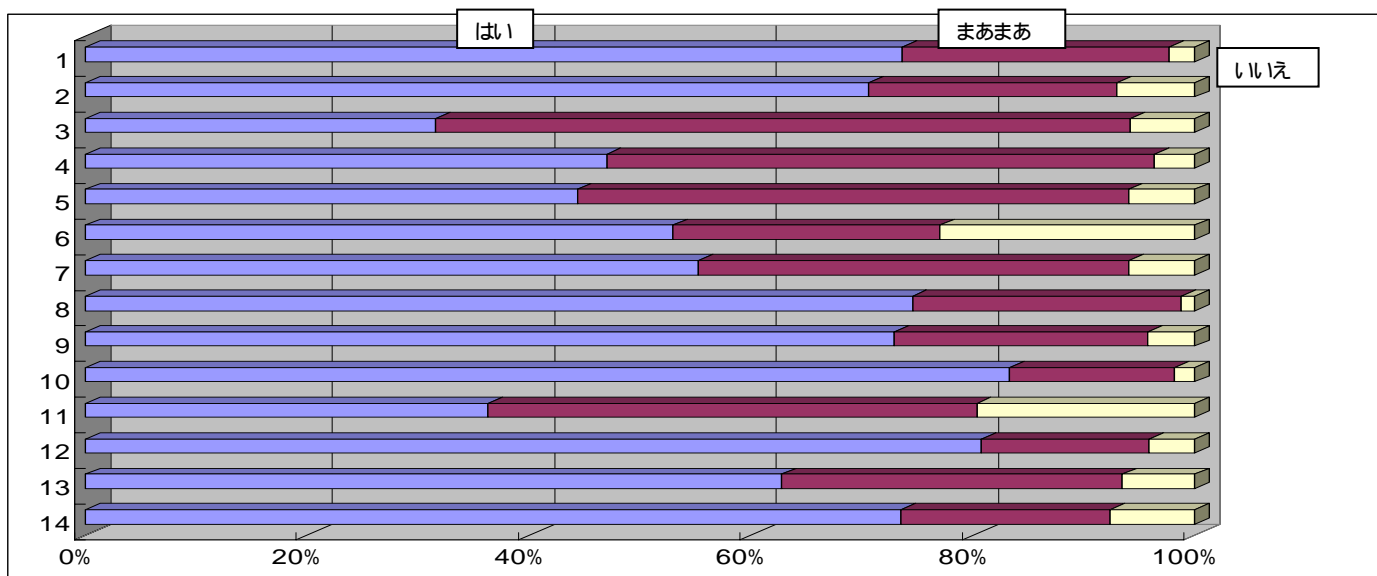
子 歳

「学校評価」~児童のアンケートから

子ども達が学校のこと、自分のことをどのように思っているのか、という視点でアンケートをとってみました。先月号に載せました保護者のアンケートと一緒に見ていただくと、稲荷小学校の様子(成果と課題)がよく見えてきます。(本校のホームページ『学校評価』にも載せています。)

児童によるアンケート

	A はい	B まあまあ	C いいえ
項目により未記入あり。			
学校の勉強を、がんばってしていますか。	126	41	4
家での勉強は、がんばってしていますか。	120	38	12
先生のお話を、しっかり聞いていますか。	54	107	10
友達のことを考えて、行動していますか。	78	82	6
先生や友達から大切にされていますか。	74	83	10
先生にいろいろなことを話せますか。	90	41	39
先生は、あなたの言うことや考えをよく聞いてくださいますか。	94	66	10
先生は、困っていることについて一緒に考えてくださいますか。	126	41	2
先生は、がんばったことを認めてくださいますか。	121	38	7
先生は、まちがったことについてきびしく指導してくださいますか。	140	25	3
校長先生は、話しやすいですか。	61	74	33
朝、自分から校長先生にあいさつをしましたか。	139	26	7
学校でのようすを、家の人にお話しましたか。	106	52	11
稲荷小学校は、楽しいですか。	125	32	13



<分析・考察>

- ・ については、よくできている。毎朝の学校長によるあいさつ運動が定着してきた。
- ・ , についてもほぼできている。しかし、家庭学習について「いいえ」の児童が約10%弱もいた。
- ・ の「先生の話」については、しっかり聞いていない児童が多いことが分かった。
- ・ ~ については、子ども達がどう先生を評価しているかだが、「先生方はまちがったことについて厳しく指導し、がんばったことを認め、困っていることと一緒に考え、言うことをよく聞いてくださるが、話しにくい。」と思っている児童もいる。
- ・ は家庭での問題だが、約6割の児童が「学校での出来事をよく話す」が、約10%弱の児童があまり話していない。
- ・ 約7割強の児童が、稲荷小学校を楽しんでいる。

<改善策>

- ・ 教師は、子ども達がさらに話しやすい環境をつくっていくよう心掛け、児童理解を深める。
- ・ 保護者も子ども達への声掛けを行い、学校での様子を聞き、学校との連携を深める。